

多高通信

第149号 平成29年12月25日発行



さどく ゆたかに たくましく
宮城県多賀城高等学校

世界防災フォーラム

ぼうさいこくたい

パネル・展示発表で参加しました！

11月25日、東北大学萩ホールで、『世界防災フォーラム・防災ダボス会議@仙台 2017』前日祭が開催され、本校災害科学科2年生の有志が参加しました。これは、「青少年からのメッセージ」と題し、東日本大震災から6年を振り返り、岩手県大槌高校や福島県福島高校の生徒ら被災地の若い世代が防災の取組を発表するものです。阪神・淡路大震災や、南海トラフ巨大地震に備える高知県の知見も交え、防災を通じてこれからの社会を考える会議となりました。本校生徒も質問を交え、活発な意見交換の場となりました。



吉野復興大臣にお越しいただきました！



また、翌26日には、仙台国際センターで『防災推進国民大会 2017(ぼうさいこくたい)』大規模災害に備えるくみんなの連携が力になる防災』が開催され、本校の防災減災の取組をパネルで展示発表しました。生徒による本校の取組についての説明に、来場した多くの方々

足を止め、熱心に耳を傾けていただきました。そんな中、午前小此木八郎防災担当大臣に、午後には吉野正芳復興大臣にブースに立ち寄り寄っていただき、両大臣よりそれぞれ励ましの言葉をかけていただきました。また、「せんだい防災パビリオン」のミニプレゼンテーションでも防災減災の取組について紹介をしました。

27日には、世界防災フォーラム(会場：仙台国際センター)の一環として行われた、宮城教育大学主催セッション「持続可能な開発と防災・減災」教育セクターの役割再考」にはパネルとして参加し、佐々木校長の発表に続き、3年生の木村千恵さんと小野寺杏さんの2名が、街に残る津波の痕跡に「津波波高プレート」を設置する活動や、街を案内する「まち歩き」など震災の記憶と教訓を伝承する取組を紹介しました。

■1年7組 嶺岸叶人(東豊中出身)
初のプレゼンでうまくいかなかったのですが、この防災イベントで発表できるとも貴重な経験になりました。ブースなどの発表だけでなく、来場いただいた皆さんの話も聞くことができ、とても勉強になりました。皆さんに「頑張つてね」と励まされ、とてもうれしかったです。

■3年3組
小野寺杏(利府西中出身)
木村千恵(東豊中出身)
今回の発表は、国内外の様々な方々に向けて行ったのですが、文化や言語が違っても「防災・減災」という同じ目標を持つもの同士として真剣に話し合う貴重な機会となりました。これからも広く多様な意見に耳を傾け、今後の活動の励みとしていきたいです。

■災害科学科1年生
石巻・女川被災地視察

12月16日、災害科学科1年生が石巻と女川の被災地で視察を行いました。大川小学校に近づくにつれて、被災地の現状を直に感じ、生徒たちの口数も次第に減っていきます。大川小学校に着し、まずは献花を行い、一人一人全員が手を合わせました。



ZO 法人 KIDS NOW JAPAN 専務理事の佐藤敏郎先生から、震災当時のようすを震災以前の姿をもとに説明していただきました。生徒の感想から、「何かあったときに考えるだけでは意味がなく、行動しなければならぬ。私たちは、あの日命を落としました。人のためにも、もっと学び、行動できるようにしなければならぬと感じた。」一瞬にして大切なものを失ってしまう遺族の方の悔しさなどを感じた。「大川小学校は震災遺構としてだけでなく、卒業生の母校でもあることを忘れず、残して欲しい。」改めて東日本大震災の脅威を知ることができた。」など、大川小学校の現実や佐藤先生のお話から生徒自身が多くのことを感じ、何か行動を起こそうという意識が高まったと感じます。

大川小学校跡地の見学



女川駅前・シーバルピア女川



男子ソフトテニス部 ゴーセン杯優勝！

12月9日、10日の2日間で行われたゴーセン杯に参加しました。

Aチームは予選リーグを1位で抜け、決勝リーグに進出。決勝リーグでは県新人大大会3位の東北生活文化大学高校や県総体3位の仙台工業高校に勝利し、見事優勝することができました。

Bチームは予選リーグ3位でしたが、3位同士で行われたリーグの中では1位となりました。

県新人大大会では、第7シードでありながらベスト16という悔しい結果でした。その悔しさを晴らすために練習してきた成果がでたと思います。年末に行われる大会でも勝つことができるよう、さらなる飛躍を目指して頑張りたいと思います。

■高木宏彰(1年6組 塩竈二中出身)
ゴーセン杯で優勝し、嬉しかったことがあります。それは、これまで頼ってきた先輩が体調不良で出場できない状況でも勝つことができました。特に、団体戦ですと勝てなかった高校にも勝つたので、その分の喜びは大きいものでした。しかし、この大会だけに限らず、これからも勝ち続けられるよう、今回の結果に浮かれることなく自信につなげたいと思います。また、当たり前なことですが、試合だけでなく準備や後片付けを積極的に手伝い、多賀城高校生として恥じない行動をとっていきますので、今後とも応援よろしくお願ひします。

Aチームのメンバー



Bチームのメンバー



吹奏楽部

アンサンブルコンテスト地区大会

フルート6重奏 サックス8重奏 金管8重奏

クラリネット8重奏 打楽器7重奏 金賞！

■サックスパートリーダー 島岡未桜(2年1組 東仙台中出身)

12月17日、アンサンブルコンテスト多賀城地区大会が行われました。昨年度、先輩方は東北大会で金賞を受賞しており、それを以上の演奏を目標に、出場するチーム同士が互いの演奏を聴き合い、指摘し合いながら練習しました。

私が参加したサックス8重奏は金賞を受賞し県大会に出場することができました。練習を進める中で、パートを上手くまとめることや、計画通りにいかないこと、どんな練習をすればよい演奏になるかと悩んだときもありましたが、先生方やパートの人に助けってもらいながら練習し、本番では力を発揮できたと思います。出場した全ての団体が金賞を受賞できたのは、同時並行で進んだ12月や1月に行われる演奏会の練習や、コンテスト当日の運営など部員一丸となり取り組めたことで、部員全員でつかった結果だと考えています。県大会に向けて、まだまだ改善するところはたくさんあると思うので、県大会までの残り少ない期間を有効に使い、全国大会を目指し、今までもよりも何倍も良い演奏ができるように頑張りたいです。